

Our Short Trip to Barstow School

私は、今回の研修を通して、いろいろなことを学び、感じることができました。

まず1つ目は、自分の英語に対して自信を取り戻すことができたことです。私は海外に移住した経験があるのですが、日本に帰ってきて英語を使う機会が少なくなってきたから、自分の英語力にあまり自信を持っていませんでした。研修前も、しっかりと会話をして帰ってくるができるか、少し不安がありました。しかし、今回バーストー校の先生や生徒、ホストファミリー、**shadow student**など、たくさんの人とコミュニケーションをとって行く中で、段々と英語で会話する感覚を取り戻すことができました。“Your English is very good!”と言ってもらえたこともまた、自信につながりました。

2つ目は、バーストー校の生徒はとても留学生に理解があるなと感じたことです。バーストー校は、中国や韓国など海外からの生徒も多く受け入れています。そのため、私たちのこともよく迎えてくれました。廊下ですれ違う小中学生が“Ohayo!”とあいさつしてくれたり、**shadow student**が友達に私の



事を紹介してくれたり、その友達もいろいろなことを話したりしてくれたおかげで、私はすぐに学校に溶け込むことができました。

3つ目は、バーストー校の生徒は勉学に励んでいるなと思ったことです。**shadow student**と一緒に受けた授業は、ほとんど理解できないほどレベルが高いものでした。中国語の授業に参加させてもらおうと、生徒はほとんど中国語で進む授業の内容を理解していて、先生の質問にも楽々と答えていました。それは、私たちが天城高校で受ける英語の授業よりも、はるかに高度に感じました。また、授業中でも分からないところがあればクラスの前で質問し、それをクラス全員で考えるところは、日本と違うと思いました。疑問に思ったことを発表し、みんなで解決することで、全員の理解が深まっていました。私もこれを実行してみようと思います。

また、授業の展開の仕方も日本とは違う印象を受けました。日本では、先生が一人、黒板の前で話し続けるという授業も少なくありませんが、バ

ーストーでは、前に書いたように、生徒が積極的に質問したり、クラス全員で議論したりと、生徒主体で授業が進んでいました。そして、理科のDavid先生の授業に参加して、実験中心で生徒の興味を沸かせるような授業展開だったのも、とても印象的でした。

カンザスシティ滞在中、私にとって一番の大きなイベントは、バーストー校の生徒の前でのプレゼンでした。私は弓道部に入っているの、弓道のことについてのプレゼンをしました。事前に何度も発表練習しましたが、本番直前にはとても緊張し、興味を持ってくれるか不安でしたが、みんな興味津々で聞いてくれ、プレゼンの後も質問をしに来てくれたりしました。アメリカでも日本の文化を共有することができ、また、受け入れられたことがとても嬉しかったです。



この研修で、私はアメリカの人々と交流し、彼らの様々なことを受け入れる広い心を知ることができました。そして、彼らに認められた日本の文化に誇りを持つことができるようになりました。日本を離れ、アメリカでこのような経験ができたから、できるようになったのだと思います。これからもアメリカでの貴重な経験とこの誇りを忘れずに、日々の生活に役立てていきたいです。

最後に、今回引率して下さった仲達先生、村井先生、本当にお世話になりました。

Thank you Barstow for a wonderful trip!